

# 創つくるる

ごあいさつ	1
役員改選	6
トピックス	8・13
現場紹介	9
防災日誌	14
協会だより	15



初期の手掘り井戸小屋



手掘り井戸小屋

この建物は手掘り井戸の上に建てられた杉皮葺きの井戸小屋で探検当時のままの大きさに復元したものです。南側に面する扉には、長さ6尺(約182cm)幅3尺(約91cm)の長方形の大きい網り窓があり光を採り入れるためと室内の空気を外に出すために工夫されています。又、小屋の中を明るくするためと空気の流れを調整するために小屋の左右には出入口が大きく取ってあり他の窓には上下に狭く窓が2ヶ所つくられています。

手掘り井戸小屋  
この建物は石巻市手掘り井戸跡の井戸跡の上に建てられた。探検当時のままの大きさに復元したものです。南側に面する扉には、長さ6尺(約182cm)幅3尺(約91cm)の長方形の大きい網り窓があり光を採り入れるためと室内の空気を外に出すために工夫されています。又、小屋の中を明るくするためと空気の流れを調整するために小屋の左右には出入口が大きく取ってあり他の窓には上下に狭く窓が2ヶ所つくられています。





衆議院議員

## 井林 たつ のり 氏

一般社団法人島田建設業協会の広報誌に寄稿するにあたり、地域の社会基盤整備を支え、安全で安心な暮らしの実現にご尽力されてきた皆様に、深く敬意を表します。

建設産業は、社会資本の整備や災害からの復旧・復興を担う基幹産業であり、地域経済や国民生活を支える重要な役割を果たしています。一方で、担い手不足や業者の高齢化、資材価格の高騰など、構造的な課題にも直面しています。

とりわけ地方では、人口減少の進行により建設需要の先行きへの不安が高まっており、安定的な事業量の確保が大きな

課題となっています。このため国としては、補正予算や当初予算を通じて公共事業の平準化を図り、年間を通じた切れ目のない発注に努めています。今後は、防災・減災や国土強靱化の観点を一層重視し、老朽化したインフラの更新や災害対策を着実に進めるとともに、地域の実情に応じたきめ細かな対応が求められます。

公共事業は必ず地域の発展に貢献します。国道一号バイパス・国道473<sup>3</sup>バイパス・新東名の交通結節点になる金谷地域への企業進出は後を絶ちません。民間投資を誘発するのが公共事業であり、豊かな社会への第一歩です。島田建設業協会管内では、国道一号バイパスの島田・金谷バイパス、藤枝バイパスの四車線化、国道473バイパスの北進、焼津市・牧之原市の防潮堤整備、大井川を始めとした河川浚渫・築堤などを通じて民間投資を刺激する公共投資に貢献しています。

さらに将来を見据えると、国家プロジェクトであるリニア中央新幹線は大井川最上流部の静岡県区間がリニア開通時期を決定します。広域的なインフラ整備は、新たな需要の創出に加え、技術革新

の契機ともなります。こうした事業に地域の建設企業が参画できる仕組みを整えることで、技術の継承や人材育成にもつながることが期待されます。

建設産業には、単なるインフラ整備にとどまらず、地域の未来を形づくる力があります。子どもたちが将来に夢を持ち、この業界で働きたいと思えるような、誇りある産業へと発展させていくことが私たちの使命です。私も、現場の声に真摯に耳を傾け、制度や予算の両面からしっかりと支えていく決意です。持続可能で希望に満ちた未来の実現に向けて、共に歩んでまいりたいと考えています。



今年4月に管内の国・県の出先機関等に新しく着任された所属長様から今年度の重点施策や取組みなどについて寄稿していただきました。



長島ダム管理所長

## 後藤 功次 氏

〔前職〕 中部地方整備局 河川部  
河川環境課長

### ○今年度の重点方針や今後の取り組み

長島ダムは、大井川水系大井川の河口から約84km（静岡県榛原郡川根本町）に建設された洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、農業用水を目的とした多目的ダムで、平成14年より管理を開始しております。

ダム完成より23年が経過し、洪水調節容量内の堆砂が進行しており、洪水調節機能に支障を及ぼす恐れがあるため、堆砂対策が喫緊の課題となっております。そのため、長島ダムでは、ダム貯水池機能（洪水調節容量）を回復するための堆砂対策（堆砂除去）を計画的・集中的に実施するため令和6年度よりリフレッシュ事業を進めております。この事業は、10年計画で洪水調節容量内堆砂量の約50%除去を目標に実施しま

す。掘削搬出の促進に必要なストックヤードを整備し、除去した土砂を効率よく搬出し、土砂の有効活用として、駿河海岸への養浜材のほか他事業間との連携をはかってまいります。近年の工事では①3次元起工測量、②3次元設計データ作成、③ICT建設機械による施工、④3次元出来形管理等の施工管理、⑤3次元データの納品によるICT施工を実施しています。ドローンの活用は、測量・工事のほか湖面巡視への活用も取り組んでいます。

また、ダム周辺は豊かな自然や風情ある鉄道など資源に恵まれた地域です。ダムインフラツーリズムや接岨湖でのカヌーやSUPの湖面利用など「地域に開かれたダム」として、魅力あるダム、地域の活性化、地域振興に貢献できるように取り組んでまいります。

### ○建設業界に期待すること

国土交通行政にとって、建設業界の皆様は事業を実施していくうえで重要なパートナーであり、災害発生時も建設業界の皆様のご協力に期待するところであります。令和3年以降、原材料費の高騰やエネルギーコストの上昇問題のほか若手人材の確保など建設業をとりまく環境は厳しい状況となっております。多様な働き方、労務・資材単価への反映など地域の実情や現場の状況等を踏まえた工事発注となるよう努めてまいりますので、是非、現場の生の声をお聴

かせていただければと思います。地域の安全安心と発展につながるよう建設業界の皆様と連携して事業を進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。



長島ダム



堆砂掘削状況（ダム上流部）



林野庁 関東森林管理局  
大井川治山センター所長

## 山本 義久 氏

〔前職〕 関東森林管理局  
企画調整課 監査官

令和8年4月1日付けで大井川治山センターに着任しました山本と申します。よろしくお願いたします。

### 〇はじめに

大井川の源流部にあたる南アルプスは、西側を中央構造線、東側を糸魚川―静岡構造線によって区切られ、標高が高く気温差が激しいことから風化が進み、非常に脆弱な地質条件です。

また、これら地質条件に加え気象条件が厳しく、年間降水量が3,000mmを超える地区もあり、山地崩壊が進んでおり、崩壊が発生しやすい地域であります。

このため、広範囲にわたる大規模崩壊地の復旧等を図るため、静岡県等からの要請

を受け昭和41年度から井川湖上流に位置する大井川地区の民有林直轄治山事業に着手し、平成13年度に川根本町に在る民有林の榛原川地区を事業区域に加え、関東森林管理局直轄の大井川治山センターとして事業を実施しています。

### 〇これまでの取組と今後の整備方針等

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、森林の造成・形成をとおして、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。大井川治山センターでは、荒廃した渓流の不安定土砂の固定と流出防止のための溪間工、崩壊した山腹斜面の安定と表土の浸食防止を図り、早期に緑化を図る山腹工を継続的に実施してきました。

今後につきましても、国土強靱化基本計画や第1次国土強靱化中期計画を踏まえ、大井川治山センター民有林直轄治山事業の全体計画に定められた整備目標・整備方針に基づき計画的に事業を実施してまいります。

林野庁では、熱中症対策や働き方改革、円滑な施工体制の確保など、公共工事に一斉に適用される関係省庁の制度改正や運用改善を的確に反映するとともに、森林土木工事が行われる山間奥地の狭隘・急傾斜地の厳しい現場実態を踏まえ、森林土木工事が地域の守り手である事業者を選ばれるよう、適正な利潤確保、生産性向上、安全向上に向けた取組を継続しています。



溪間工（大井川地区 東河内）



山腹工（榛原川地区 ホーキ雑）

### 〇おわりに

治山事業を円滑に実施するためには、地元自治体をはじめ土地所有者、地域の皆様、関係各機関のご理解とご協力が必要不可欠となります。このことから大井川治山センターでは、毎年地元への事業説明会の開催、地域イベントへの参加、登山道の清掃活動など治山事業の普及啓発活動を行っており、引き続き、地元とのつながりを大切にしながら、地域の皆様が安全で安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう取り組んでいきます。

最後に、建設業は、地域の生活環境や経済活動のインフラ整備のほかに、災害発生時には被災情報の収集や応急復旧工事など安心・安全な生活基盤を支える要として重要な存在であると認識しております。貴協会の更なるご発展をお祈り申し上げます。



焼津漁港管理事務所長

原田 佳和 氏

〔前職〕交通基盤部 港湾整備課長

### 〇はじめに

地元の皆さま、そして建設業界の皆さまには、日頃より焼津漁港および地域の発展にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。漁港は、地域の漁業活動の基盤となる重要な施設であり、漁業者の安全と安心を支え、水産物の安定供給に寄与しています。本年度も、安全で持続可能な漁港づくりを努めてまいります。

### 〇本年度の重点方針と今後の取組

本年度は、昨年度に引き続き「水産流通基盤の整備」と「地震・津波対策」の推進を重点方針として取り組めます。

「水産流通基盤の整備」では、「日本一の水産文化都市の持続的繁栄」を将来像に掲げ、令和4年度からの10か年を整備期間とする「焼津地区特定漁港漁場整備事業計画」

を進めています。現在、港内の静穏を保ち水産業を守る防波堤の改良工事を進めており、本年度は大型漁船の係留が可能となる大水深岸壁の改良工事にも着手する予定です。

「地震・津波対策」では、東海地震のように発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす災害に備え、防潮堤や陸間の整備を進めています。これらは地域にお住まいの方々を守るための施設であり、今後も景観やにぎわいの創出に配慮しながら対策を推進します。

また、重点方針を推進しつつ、老朽化が進む漁港施設の機能保全に向けて計画的な点検と補修を効率的に実施し、事故や災害のリスク低減にも努めてまいります。

### 〇建設業界に期待すること

建設業界は、従事者の高齢化や担い手不足といった厳しい環境にあります。漁港の安全性や機能向上のためには、皆さまの安全かつ高度な施工技術が欠かせません。

老朽化が進む建設インフラの維持管理や整備における品質の低下を防ぐため、業務の効率化や省力化に繋がる建設DX化を、情報共有や連携を通じて皆さまとともに推進していければと考えています。

当漁港が今後も、より安全で魅力的な場となるよう、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



小川南防波堤の改良



津波対策施設の整備（杭打ち工）



御前崎港管理事務所長

## 岡村 徹 氏

〔前職〕交通基盤部 道路整備課長

### ○今年度の重点方針や今後の取り組み

当事務所は、御前崎市から牧之原市にかけて位置する重要港湾の御前崎港と牧之原市内の地方港湾の相良港と榛原港、ならびに各港湾海岸を所管しております。

このうち、県内唯一の完成自動車の輸出拠点であり、国際コンテナターミナルを有する御前崎港は、背後圏である県中西部地域の自動車関連産業をはじめとした県内産業を物流面で支える重要な役割を担うとともに、マリレジャーへの利用や大型外航客船の寄港など、物流拠点としての役割に加え、地域の賑わいの拠点にもなっております。

令和7年3月には、新東名、国道1号、富士山静岡空港、東名と御前崎港を結ぶ高規格道路「金谷御前崎連絡道路」が、国道1号菊川ICまで開通し、陸・海・空の広域交通拠点が結ばれ、交通アクセスが

飛躍的に向上しております。

この交通ネットワークを活かして多目的国際流通港湾として発展することをめざし、コンテナや完成自動車をはじめとする外貿、定期コンテナ航路による国内サプライチェーンへ寄与する内貿において、より利便性の高い港となるよう整備を推進するとともに、引き続き関係団体と連携して、ポートセールス活動を積極的に推進してまいります。

また、南海トラフ巨大地震に対応した「静岡県第四次地震被害想定」に基づき、県民の生命や財産を守る津波対策施設として、既存堤防の嵩上げや陸開の改良等を進めるとともに、大規模災害発生時に緊急物資の輸送拠点となる御前崎港においては、国直轄事業による防波堤の粘り強い構造化とともに複合的な津波対策により御前崎港の強靱化に取り組んでまいります。

### ○建設業界に期待すること

建設業界に対して令和6年4月から時間外労働の上限規制が適用開始される一方で、近年の自然災害や南海トラフ巨大地震による災害リスクの増大に対し、建設業界の献身的な協力なくして成り立ちません。また、人

口減少や少子高齢化の進展等に伴う就業者の減少が進行するなかで社会資本整備の担い手として求められる役割はますます増大しております。

今後、このような環境の変化や社会的な要請に対応していくためには、官民が連携して働き方改革により建設産業の魅力を高めて担い手を確保するとともに、省人化・省力化や新技術・新工法の活用など、建設現場の生産性向上に二層取り組んでいくことが重要であります。引き続き、建設業界の皆様と連携協力し、夢や誇りの持てる魅力ある建設業界への転換に向け、取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



# 一般社団法人 島田建設業協会 新役員紹介

役員の任期満了に伴い、令和8年5月12日の定時総会において、(一社)島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の役員が選任されたので紹介いたします。



会長 山田壽久  
(株)山田組



副会長 梶山 基  
(株)梶山組



副会長 岡村延昌  
岡村建設工業(株)



副会長 植田 進  
(株)加藤組



理事 橋本勝策  
(株)橋本組



理事 古川賢吾  
フルカワクリエイト(株)



理事 朝倉純夫  
大河原建設(株)



理事 山本利彦  
(株)グロージオ



理事 中林功德  
(株)中林建設



理事 山岸 豊  
山岸建設(株)



理事 原 廣太郎  
(株)原小組



理事 菊池松巳  
(株)柳澤組



理事 鈴木 徹  
(株)鈴木土建



理事 増田雄也  
相良建設(株)



理事 大石真也  
大石建設(株)



監事 村松章典  
(株)丸川組



監事 落合直人  
(株)金谷工務店



監事 木村紘子  
(株)木村組



専務理事 原田久仁一  
事務局長

# 令和8・9年度 (一社) 島田建設業協会委員会 委員名簿

任期：令和8年5月12日～令和10年5月定時総会

委員会名	総務委員会	広報委員会	労務委員会	土木・ 建築委員会	環境・ 災害対策委員会	安全委員会	建設業労働災害防止協会	土木施工管理 技士会
							防災委員会	
県協会 役員	—	植田 進 (株)加藤組	山岸 豊 山岸建設(株)	—	大石 真也 大石建設(株)	—	常任幹事 山本 利彦 (株)グローシオ	—
担当 正副会長	梶山 基 (株)梶山組	植田 進 (株)加藤組	植田 進 (株)加藤組	梶山 基 (株)梶山組	岡村 延昌 岡村建設工業(株)	岡村 延昌 岡村建設工業(株)	—	—
委員長	原 廣太郎 (株)原小組	古川 賢吾 フルカワクリエイト(株)	山岸 豊 山岸建設(株)	山田 壽久 (株)山田組	大石 真也 大石建設(株)	山本 利彦 (株)グローシオ	山本 利彦 (株)グローシオ	地区長 岩崎 保美 (株)グローシオ
副委員長	山岸 豊 山岸建設(株)	三村 秀雄 三村建設(株)	本橋 孝洋 本橋建設(株)	村松 章典 (株)丸川組	増田 雄也 相良建設(株)	落合 直人 (株)金谷工務店	落合 直人 (株)金谷工務店	—
委員	橋本 勝策 (株)橋本組	八木 利寛 佐藤建設(株)	梅原 克則 (株)橋本組	橋本 勝策 (株)橋本組	見崎 俊夫 岡村建設工業(株)	小泉 雄弘 (株)橋本組	小泉 雄弘 (株)橋本組	橋本 和記 (株)橋本組
〃	岡村 延昌 岡村建設工業(株)	横井 秀明 (株)山田組	山田 弦 (株)山田組	朝倉 大輔 大河原建設(株)	杉山 裕巳 (株)杉山工務店	植田 優 木下建設工業(株)	植田 優 木下建設工業(株)	松浦 和久 木下建設工業(株)
〃	山田 壽久 (株)山田組	山本 利彦 (株)グローシオ	飯塚 友也 角丸建設(株)	山本 利彦 (株)グローシオ	箸 正直 (株)グローシオ	富永 英之 (株)原川土木	富永 英之 (株)原川土木	大窪 政紀 (株)原川土木
〃	村松 章典 (株)丸川組	大場祐一郎 (株)エコワーク	伊藤 干城 (株)鈴竹	青島 英昭 興和建設(株)	天王沢雄之 池村建設(株)	山田 弦 (株)山田組	山田 弦 (株)山田組	柳本 浩 岡村建設工業(株)
〃	朝倉 純夫 大河原建設(株)	中林 功德 (株)中林建設	大石 真也 大石建設(株)	池田 豊 大井建設(株)	下田 晴久 (株)特種東海フォレスト	今野 正志 (株)杉山工務店	今野 正志 (株)杉山工務店	山本 英樹 (株)山田組
〃	木村 紘子 (株)木村組	原 廣太郎 (株)原小組	鈴木 淳二 徳山建設(株)	茂川 雅裕 マルキ建設(株)	高橋 浩司 高橋建設(株)	北村 泰士 (株)丸川組	北村 泰士 (株)丸川組	古川 賢吾 フルカワクリエイト(株)
〃	植田 進 (株)加藤組	大石 健仁 大石建設(株)	神田 優一 (株)神田組	増田 雄也 相良建設(株)	梶山 基 (株)梶山組	鍋田 卓宏 大河原建設(株)	鍋田 卓宏 大河原建設(株)	今野 正志 (株)杉山工務店
〃	鈴木 徹 (株)鈴木土建	辻川 喜弘 (株)木村組		鈴木 徹 (株)鈴木土建		三橋 正和 (株)エコワーク	三橋 正和 (株)エコワーク	西澤 広治 大河原建設(株)
〃	菊池 松巳 (株)柳澤組	鈴木 徹 (株)鈴木土建				田崎 弘幸 (株)田崎組	田崎 弘幸 (株)田崎組	増田樹久靖 (株)エコワーク
〃		神田耕一郎 (株)神田組				鈴木 丈昌 徳山建設(株)	鈴木 丈昌 徳山建設(株)	八木 信彦 (株)ケンコー
〃						菊池 寛 (株)柳澤組	菊池 寛 (株)柳澤組	天王沢雄之 池村建設(株)
〃						植田 和之 (株)加藤組	植田 和之 (株)加藤組	茂川 雅裕 マルキ建設(株)
〃						増田 幹 相良建設(株)	増田 幹 相良建設(株)	堀本 亮佑 大石建設(株)
〃						八木 保之 共和建設(株)	八木 保之 共和建設(株)	石田 豊明 (株)木村組
〃								小林 康夫 共和建設(株)
〃								梶山 純 (株)梶山組
〃								清水 久貴 (株)神田組

※建災防 防災委員任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日  
 ※土木施工管理技士会 代議員任期 令和8年5月19日～令和10年5月 技士会定時総会



## 令和7年度第2回総会を開催 8年度事業計画と収支予算を承認

(一社) 島田建設業協会、防災防島田分会は、3月10日(火)に令和7年度第2回総会を開催しました。

冒頭、山田会長は「われわれ地域の建設業者は、地域の守り手として果たす役割は大きい。建設業を取り巻く環境は厳しいが健全経営と担い手の確保が不可欠。また、働き方改革など建設産業の魅力を高めていく必要がある。今後も会員のために有益な活動に努めていくので協力をお願いしたい」との挨拶がありました。協会議事では、令和8年度事業計画案、収支予算案などを承認し、分会についても安全パトロール実施などを継続して行う事業計画を承認しました。



## 令和8年度第1回総会を開催 7年度事業報告と収支決算報告を承認

(一社) 島田建設業協会及び防災防島田分会並びに島田地区建設業協同組合は、5月12日(火)に島田建設業会館会議室において、労基・土木・農林の所長を来賓としてお招きして、令和8年度第1回総会を開催しました。

総会冒頭のあいさつで山田会長は、「頻発する自然災害や中東情勢などにより厳しい環境にあるが、地域社会での役割を果たしていくことが大切」と話し、「地域の安全・安心を確保し、良質な建設サービスを提供するため有意義な活動を展開するので、皆さんの協力をお願いしたい」と呼び掛けました。

この後議案審議に入り、(一社) 島田建設業協会、防災防島田分会及び島田地区建設業協同組合の事業報告と収支決算報告並びに協会と事業協同組合の任期満了に伴う役員の変更案などが上程され、審議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。また、総会後に山田会長から全建等の受賞者への記念品を贈呈しました。



## 全国建設業協会会長表彰・静岡県建設業協会会長表彰等を多数の会員がめでたく受賞

永年にわたり建設業の発展に寄与した会社または個人を表彰する(一社)全国建設業協会会長表彰をはじめとする各種建設業団体の表彰式が開催され、当協会からも多数の会社及び個人が受賞しました。

### (一社) 全国建設業協会会長賞表彰

2条2号 山本 利彦 (株)クロージオ

2条4号 小塚 辰巳 (小塚建設(株))

5条 増田 一好 (株)山田組

〃 榎田 喜浩 (株)柳澤組

### (一社) 静岡県建設業協会会長賞表彰

2条4号 大河原高広 (株)エコーク

〃 梶山 基 (株)梶山組

〃 古川 賢吾 (フルカワクリエイト(株))

5条 山崎 孝 (株)橋本組

〃 大畑 進也 (株)橋本組

〃 曾根 岳 (株)山田組

〃 杉本 憲彦 (株)山田組

〃 池ヶ谷浩史 (大河原建設(株))

〃 福島 英幸 (大河原建設(株))

〃 谷下 達也 (株)クロージオ

〃 柴本 史尚 (大石建設(株))

〃 米山 富浩 (大石建設(株))

〃 西村 昇一 (大石建設(株))

〃 鈴木 大樹 (大石建設(株))

### 第42回(一社) 静岡県建設業協会建設もの創り大賞表彰

土木部門 優秀賞

(株)橋本組 令和5年度(国)150号橋梁耐震対策工事(新瀬戸川橋脚補強工)

建築部門 優良賞(A部門)

(株)山田組

令和4年度藤枝東高等学校管理教室棟新築工事(建築)

建築部門 優良賞(A部門)

大河原建設(株)

令和5年度島田高等学校管理教室棟耐震補強他工事(建築)

(一社) 全国中小建設業協会会長表彰

3条1号 岡村 延昌 (岡村建設工業(株))

(一社) 静岡県建設業団体連合会会長表彰

表彰状1 朝倉 純夫 (大河原建設(株))



# 紹介

## 令和6年度 小石川遊水地整備工事

【佐藤建設株式会社】

### ● 工事概要 ●



工事名	令和6年度 小石川遊水地整備工事
工事箇所	焼津市小屋敷地内
工期	令和6年6月27日～令和7年5月30日
施工者	佐藤建設株式会社
発注者	焼津市
現場代理人	望月 大輝
工事概要	施工延長 155m
	河川土工 5,500㎡
	法覆護岸工 408㎡
	グラウンド施設工 3,310㎡

### 完成



## 工事のポイント

本工事は、小石川氾濫対策を目的とした工事になり法覆護岸工（ブロック積み）を施工時、地下水が多く施工方法や工程管理・地山崩壊対策に留意し施工を行いました。



作業状況

# 現場

令和6年度 (主)島田吉田線橋梁補修工事 (谷口橋補修工) 【大河原建設株式会社】

## ● 工事概要 ●



着手前

工事名	令和6年度 (主)島田吉田線橋梁補修工事(谷口橋補修工)		
工事箇所	島田市道悦島地内		
工期	令和6年12月3日～令和7年6月20日		
施工者	大河原建設株式会社		
発注者	静岡県島田土木事務所		
現場代理人	岡野 昭三		
工事概要	橋梁補修工1式		
	亜硝酸リチウム内部圧入工		2基
	亜硝酸リチウム併用型ひび割れ注入工		130m
	断面修復工(左官工法)		1式
	支承防錆工(金属溶射)		10基
	排水管取替え工		12箇所
	仮設工(橋梁足場工他)		1式

完成



## 工事のポイント

本工事は、大井川に架かる谷口橋の補修工事で、梁部分のアルカリ骨材反応の抑制が主要目的でありました。抑制剤である亜硝酸リチウムを、削孔した圧入孔より注入する工法により、コンクリートの劣化を根本的に抑制しました。



吊足場設置完了



施工状況

# 紹介

令和7年度 (準) 沢垂川排水樋門設置工事

【株式会社木村組】

## ● 工事概要 ●



工事名	令和7年度 (準) 沢垂川排水樋門設置工事
工事箇所	牧之原市細江地先
工期	令和7年7月18日～令和8年5月29日
施工者	株式会社 木村組
発注者	牧之原市
現場代理人	鈴木 雅紀
工事概要	樋門本体工 N=1式 護床工 N=1式 付帯道路工 N=1式

完成



## 工事のポイント

水門工事着手前に地権者打合せした結果同じ時期に民家新築工事がはじまり仮設土留めの鋼矢板打ち込み引抜等に地権者との打ち合わせに苦慮しました。地権者と工程及び工法の打合せを細部にわたり実施した結果、支障なく工事完成しました。



作業状況

# 現場

令和7年度 林道施設災害復旧事業 林道千頭嶺線災害復旧工事 【株式会社神田組】

## ● 工事概要 ●



工事名	令和7年度 林道施設災害復旧事業 林道千頭嶺線災害復旧工事	
工事箇所	川根本町千頭地内	
工期	令和7年6月11日～令和8年2月27日	
施工者	株式会社 神田組	
発注者	川根本町	
現場代理人	小澤 文男	
工事概要	施工延長	L=37m
	軽量盛土工（発泡ウレタン工）	150m <sup>3</sup>
	グラウンドアンカー工	8本
	防護柵工	17m
	法面保護工	187m <sup>2</sup>

## 完成



## 工事のポイント

本工事は、急峻な斜面のためバックホウが使用できず人力で床掘りを実施しました。また施工ヤードが狭く大型クレーンが使えないため、足場を工夫して施工しました。



作業状況

# TOPICS

～こんな動きがありました～



## 令和8年新年賀詞交歓会を開催しました

1月14日(水)に藤枝市のホテルオーレにおいて、新年賀詞交歓会を開催し、井林衆議院議員ご本人と牧野参議院議員代理の大石氏を来賓に迎え、新年を祝いました。

新年の挨拶で山田会長は、「地域の建設業は、地域の守り手として、大きな社会的責任と重要な役割が期待されている。健全で安定した経営を継続する必要があるとともに、建設業の魅力を高めて担い手を確保することが不可欠」と話しました。また、「建設業の経営を取り巻く環境は厳しいが、より一層の知恵と工夫により、この難局を乗り越えていこう」と呼び掛けました。当日は33名が出席し、会員相互の親睦や情報を交換する機会となり、有意義なひと時を過ごしました。



## 交通事故死ゼロを 目指して

「春の全国交通安全運動」が4月6日(月)から15日(水)までの10日間実施されました。

「安全を つなげて広げて 事故ゼロへ」のスローガンのもと、当協会も地域と連携してこの運動に取り組んでおり、運動期間中は、交通安全のぼり旗の掲示や、交通安全の呼び掛けなどを行いました。



## 無事故無災害を願って!! 安全祈願祭を開催しました

4月14日(火)に防災防島田分会は、年度初めにあたり工事の安全祈願を、島田市の「大井神社」で行い、1年間の無事故無災害を祈りました。

当日は、協会の正副会長、防災委員、島田労働基準監督署竹中署長と島田土木事務所沼野所長ら22人が参加しました。山田分会長は「当分会は労働災害防止に積極的に取り組んでおり、昨年は死亡事故ゼロだった。今年も安全パトロールを中心に取り組み、無事故・無災害を目指したい」と話しました。また、「イラン情勢が資材に影響を及ぼすなど厳しい環境にあるが、より一層の安全意識の向上を図ってほしい」と呼び掛けました。



# 災防日誌

災害防止への取り組み

日頃より、建災防島田分会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

4月から新年度がスタートしました。令和7年度を振り返ってみますと、静岡県交通基盤部及び経済産業部発注の建設工事等で、7件の労働災害、25件の公衆災害が発生しました。

本年度もこれらの災害発生を0件にすることを目標とし、建災防安全パトロールを実施してまいりますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

私自身、昨年度より建災防島田分会の安全パトロールに参加させていただいております。また社内でも安全パトロールを行っております。安全パトロールを通じて感じることは、普段から工事を担当されている方々は安全管理に対して決して手を抜いていることはなく、事故ゼロを目指し日々研鑽を積み、安全管理に努めておられることです。それでもなぜ事故が起きてしまうのか、現場内ルールや社内ルールを定めてルール遵守を徹底しているにもかかわらず事故が発生してしまうのか。また重大事象(死亡事故)や労働災害には至っていませんが、『これくらいなら大丈夫だろう』という慣れや安全軽視、近道・省略行動による事故が多々発生しているのも事実です。

安全はルールだけで守れるものではありません。一人ひとりの意識と現場内での積極的な声掛けが何より大切であり、コミュニケーションが円滑に行われていると現場の安全性も高まります。声をかけあう環境が、ヒューマンエラーを減らすための第一歩であると考えます。

立場に関係なく誰もが意見や提案を気軽に発言できる現場の雰囲気づくりや環境づくりを目指し、工事従事者全員が同じ意識を共有し、工事竣工まで事故ゼロを目標に頑張りましょう。

災防委員 (株)エコワーク 三橋 正和



## 今年度初めての「安全パトロール」と第1回災防委員会を実施

5月8日(金)午前中に島田労働基準監督署及び島田土木事務所との今年度初の合同安全パトロールを行い、安全指導者ほか21名が8の指導工事現場に分かれ、各現場において安全指導を実施しました。パトロール前の打合せでは、山本災防委員長が「本年度最初のパトロール。新規入場者教育にも努め、無事故・無災害の実現に向けて、しっかりと点検してほしい」と呼び掛けました。また、労基の鍋田監督官と建災防本部の千葉安全管理士からの挨拶がありました。

島田・金谷地区では、大津谷川支川水ヶ谷砂防工事の現場を点検し、適切な安全対策と熱中症対策などを指導しました。午後には第1回災防委員会を実施し、建災防静岡県支部長表彰の候補者の選定や、安全標語・けんせつ川柳の募集、安全パトロール点検表の変更や労働災害再発防止の取組みなどについて協議しました。



# 協会だより ~協会のうごき~


## 令和7年度（令和8年1月～3月）

- **総会**  
令和7年度第2回総会 3月10日(火) 当協会  
・令和8年度事業計画(案)について ほか
- **新年賀詞交歓会**  
1月14日(水) ホテルオーレ
- **理事会**  
第4回理事会 1月14日(水) ホテルオーレ  
・新年賀詞交歓会の開催について ほか  
第5回理事会 3月10日(火) 当協会  
・令和7年度第2回総会提出議案について  
・正副会長候補の選出について ほか
- **正副会長会議**  
第7回会議 1月14日(水) 吉田町内  
・第4回理事会提出議案について ほか  
第8回会議 2月3日(火) 当協会  
・優秀施工者表彰候補者の選定について ほか  
第9回会議 3月10日(火) 当協会  
・第5回理事会提出議案について ほか
- **広報委員会**  
広報誌171号発行 1月初旬
- **環境・災害対策委員会**  
・県原子力防災研修会 1月22日(木) 県男女共同参画センター  
・県中部地域道路啓開検討会 3月3日(火) 書面
- **委員長会議**  
2月3日(火) 当協会  
・令和8年度事業計画(案)について ほか
- **建災防島田分会**  
第2回防災委員会 1月28日(水) 当協会  
・令和8年度事業計画(案)について ほか  
安全パトロール  
・1月28日(水) 5地区  
・3月4日(水) 5地区

## 令和8年度（令和8年4月～）

- **総会**  
令和8年度第1回総会 5月12日(火) 当協会  
・令和7年度事業報告について ほか
- **理事会**  
第1回理事会 5月12日(火) 当協会  
・総会議案の審議 ほか

- **監査**  
令和7年度監査 4月14日(火) 当協会
- **正副会長会議**  
第1回会議 4月8日(水) 吉田町内  
・今後の主要行事について ほか  
第2回会議 4月14日(火) 大井神社  
・今後の主要行事について ほか  
第3回会議 5月12日(火) 当協会  
・今後の主要行事について  
・第1回役員会の議題について ほか
- **総務委員会**  
春の交通安全県民運動への参加 4月6日(月)～15日(水) 全会員
- **広報委員会**  
第1回委員会 4月3日(金) 当協会  
・172号の企画  
第2回委員会 6月5日(金) 吉田町内  
・172号の校正
- **労務委員会**  
第1回委員会 4月21日(火) 当協会  
・親子現場見学会について
- **土木・建築委員会**  
浜松河川国道事務所との意見交換会  
6月16日(火) 当協会
- **環境・災害対策委員会**  
災害対策用機械操作訓練  
・静岡国道事務所、静岡河川事務所主催  
6月29日(月) 安倍川河川敷
- **建災防島田分会**  
安全祈願祭 4月14日(火) 大井神社  
第1回防災委員会 5月8日(金) 当協会  
・支部長安全表彰受賞候補者の推薦について ほか  
安全パトロール  
・5月8日(金) 5地区
- **今後の予定**  
島田地区建設業労働災害防止安全大会  
7月3日(金) 夢づくり会館  
親子現場見学会 8月7日(金) コマツテクノセンタ



**建退共加入事業所のみなさま**  
電子申請方式をぜひご利用ください！

①電子申請方式とは  
共済証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです。

②電子申請方式の申し込み方法は  
電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部に提出。

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846

### 表紙解説

### 相良油田の里

相良油田は太平洋沿岸唯一の産油地です。その歴史は明治5年から昭和30年ごろまで採油されました。最初は手掘りにより採油の深さは約180mで後に機械掘採油となり井戸の深さは310mまで及びました。原油の成分はガソリン34%・灯油34%・軽油22.5%・重油9.5%です。原油は非常に希な軽質油であり低粘度でウイスキーのような透き通った琥珀色の液体でろ紙に濾すだけでガソリンエンジンに使用できました。最盛期には約600人が働き240孔の油井から年間721キロリットル（ドラム缶3600本分）産出されました。



建設業協会 広報誌 創る 第172号 令和8年7月1日

発行元：一般社団法人島田建設業協会 広報委員会

島田市中央町12-10 TEL 0547-37-7105 FAX 0547-35-5705

URL <http://www.shimadakenkyo.jp/> E-mail [info@shimadakenkyo.jp](mailto:info@shimadakenkyo.jp)

印刷：株式会社 共立アイコム 藤枝市高柳1-17-23 TEL 054-635-4651

